

臨床研究の実施に関する情報公開

静岡県立総合病院では、臨床研究倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

研究の拒否	患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。
研究課題名	進行再発胃癌における RAM+PTX 療法と RAM+nab-PTX 療法の血液毒性発現状況の比較検討
研究機関名	静岡県立総合病院
研究責任者	薬剤部 大澤美紗
研究期間	2020年10月8日から2021年3月まで
対象者	2016年6月から2018年4月までに当院でRAM+PTX療法を受けた患者さん、2018年5月から2020年3月までに当院でRAM+nab-PTX療法を受けた患者さんを対象にしています。
当該研究の意義・目的	アルブミン懸濁型パクリタキセル(nab-PTX)はヒマシ油やエタノール等を含有しないため過敏症状の発現リスクが少なく、アルコール不耐の患者さんにも投与可能です。今回の研究の目的は、当院の患者さんにおけるラムシルマブ(RAM)+パクリタキセル(PTX)療法とRAM+nab-PTX療法の副作用発現状況に違いがあるのかを検討することです。
方法および研究で利用する試料・情報について	対象となる患者さんの診療録（カルテ）から次の情報を調査します。 <ul style="list-style-type: none"> ・背景因子（年齢、性別、化学療法施行歴など）、 ・臨床データ（採血結果、体温、血圧、脈拍、画像検査結果など） ・副作用発現状況
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の間合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考えられる範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。
問合せ先	◆その他、この研究に関するお問合わせ、苦情等ございましたら下記へご連絡ください。 静岡県立総合病院 薬剤部 大澤美紗 代表 054-247-6111